

『もろこみ』キャッシュ・バックキャンペーン実施中!

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み1万円に含まれています。さらに、車を返却する必要もありません。

「私は、一日300円で

車を買いました。」



カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル
TEL 0120-0120-55 <http://www.carcon.co.jp>

『車業界の転換期(5)』

このところ、前代未聞の雨量や、異常な温度の落差、予測不可能な台風のルート、キューバやメキシコ、アメリカを襲ったハリケーンの規模の大きさなど、明らかに地球温暖化の影響が異常気象という形で人間社会に影響を落とし始めた。

またトランプ大統領と北朝鮮の金正恩氏との子供じみたコメントの応酬や、ミャンマーなどで起こっている天然ガスを中心にした先進諸国の利権の争いと民族紛争。全てが、ほんの10年前には考えられなかった。地球の根本的な仕組みの変化が、ありとあらゆるところで同時に勃発しているのを感じる。

日本に目を転じてみれば、安倍総理の森友学園と加計学園問題から端を発した文科省のトラブルが、あつという間に国内の政治を入れ替えるような事態になってしまっている。どこの誰がこの2つの問題が秋の衆議院の冒頭解散につながることを予想できただろうか。

一方でフィンテック*の加速度を上げた金融界、とりわけ仮想通貨の誕生や、あつという間に普及しつつあるAI(人工知能)の搭載された家電の登場などは、今世紀は人類にとって16世紀の宗教改革や産業革命、さらには第一次、第二次世界大戦後の植民地争いなどでは見られなかった、地球の根本的な構造の変化が訪れようとしている。

実はこの変化の最先端を走っているのが自動車業界である。

今年の始めは、イーロン・マスクのテスラとGoogleの無人自動車の新機種の新しい機能の紹介など、自動運転車のニュースが朝刊の一面を飾った。その後紙面は、ドイツが2030年までに、イギリスとフランスが2040年までにガソリン車の販売を停止するという話題に引き継がれ、8月を過ぎてからエコカーつま

りハイブリッド、EV(電気自動車)のニュースが量的にも他の業界のニュースをはるかにしのいでいる。

国内においてもトヨタとマツダ、デンソーの3社がEV開発のための新会社の設立を発表したが、来年からのEVの革命的な先行投資と、それに伴った販売のあり方や流通、メンテナンスの仕組みの変化も予見させる。

また、ホンダが埼玉の狭山工場を閉鎖すると発表した。国内生産能力を毎年100万台から80万台に減少させ、加えて売上高利益率と稼働率をアップさせるのも自動車業界においては驚くべき判断となった。

そして最後に必ずテーマになるのが人手人材不足。日産自動車の116万台ものリコール。これは本来正社員が行うべき出庫前の車の点検を、この何年間かライセンスを持たない素人の派遣社員が行っていたという、我が国全体の安全基準を根本から見直すべき大問題である。人材の獲得に悩むのが日本。

最後の最後はやはり人間の知恵と労働力が最も必要とされている時代だと改めて考えさせられるこの問題は、しばらく続くのではなかろうか。

*IT(情報技術)を駆使した金融サービスの創出のこと。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任